

桐生市の未来のために・・・

～下水道事業の持続的運営をめざす～

桐生市 水道局 境野水処理センター
山本 瞬

境野水処理センター 屋上公園

桐生市の魅力

・山紫水明の地



- ・山間の扇状地に市街地を形成。
- ・桐生川、渡良瀬川と水資源が豊富。
- ・都心より100km圏内。東武特急により、浅草まで約一時間半。

・伝統と文化の街



- ・群馬県内で3番目に市政を施行。
- ・1656年より続く桐生祭り。
- ・中心市街地は重要伝統的建造物群保存地区に指定を受ける。

この魅力を守るためには「下水道事業の持続的運営」が不可欠！

桐生市の下水道事業の課題 (主要なものを抜粋)

○人口減少に応じた資産削減

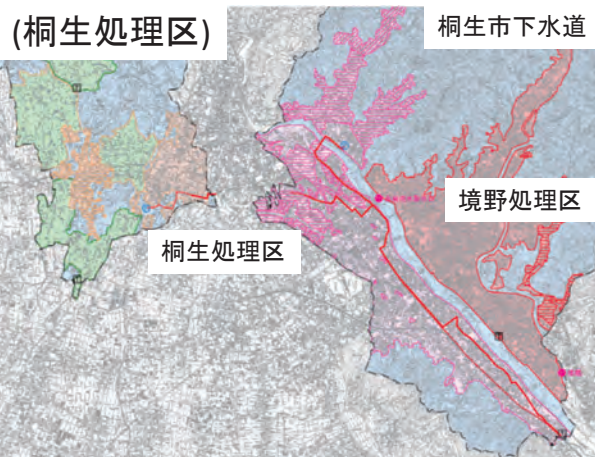
- ・平成30年度末 111,295人 → 令和32年度 64,762人(42%減)
- ・92,000m³/日の処理能力
- ・H30年度日平均流入水量 33,582m³/日

(境野処理区) 境野水処理センター



○今後整備すべき区域の確認

	全体計画面積[ha]	整備済み面積[ha]	残整備面積[ha]
境野処理区	1426.3	1343.5	82.8
桐生処理区	2005.4	1341.0	664.4

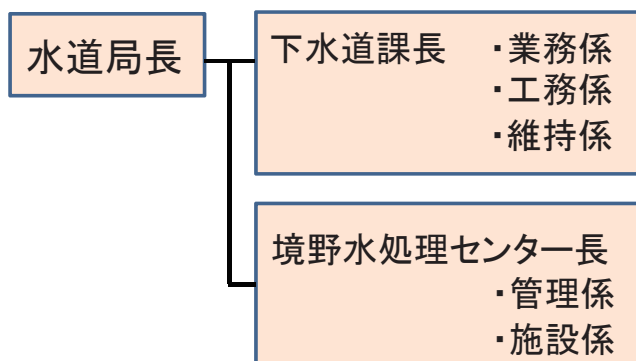


○処理区統廃合の効果検証

- ・改築コスト削減の可能性

…など 3

共に考えるための体制



桐生市プロジェクトメンバー



- ・メンバー全員での現地確認



- ・TV会議を活用したPJ会議



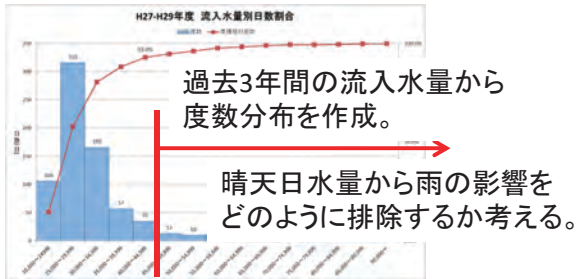
- ・PJまでに市内部で方針打合せ
- ・運転管理業者を含め課題解決策の検討

縦割りではなくメンバーが一丸となって課題解決策を検討

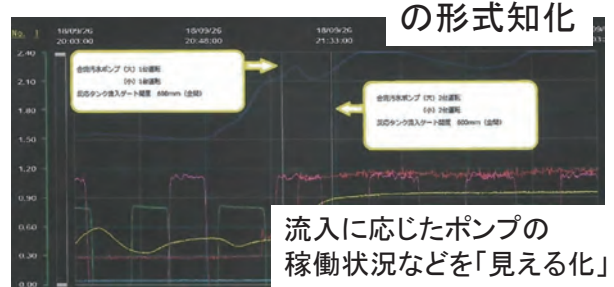
共に考え、課題解決へ挑む

「必要晴天日能力の設定」を例に検討内容を示す。

①徹底した流入実態の把握



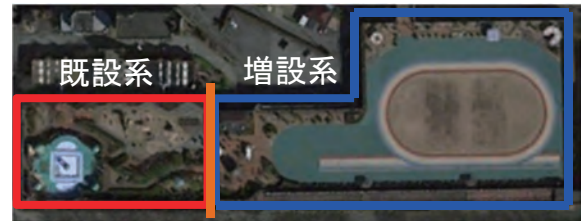
②水量変動に対する運転手法



③運転系列減による試験運転



④上部公園の取り扱い方針

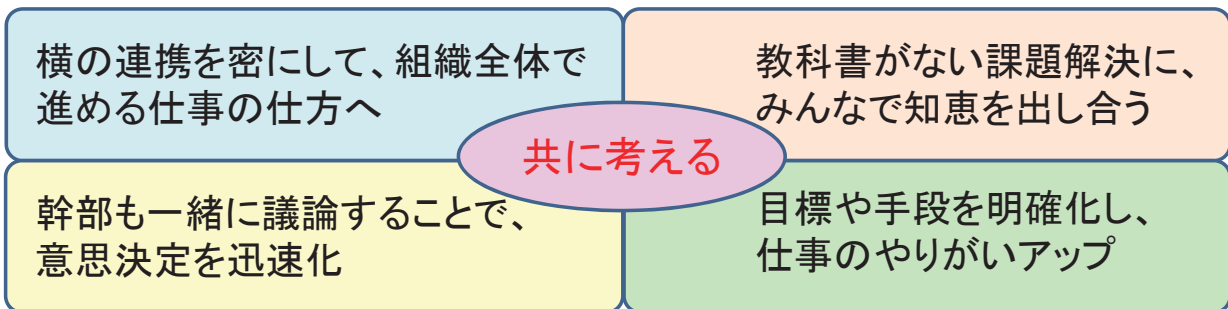


能力92,000m³/日(既設2系、増設4系)⇒45,000m³/日(耐震後の増設3系)

5

「共に考える」効果⇒仕事のやり方改革と人材育成

➤ 仕事のやり方改革



➤ 人材育成

- ・課題発見力、課題解決力の向上(下水道以外の部署でも役立つはず)
- ・困難な課題も解決のために挑戦するチャレンジ精神

今後もこの桐生市、JSの関係性を維持

⇒R元年度:「共に考える」SM全体計画(処理場編)をJS委託

6